

# 目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は   ☆印の箇所を記入してください。

## I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	司法研究科
大項目	1 運営と自己改革
中項目	
小項目	1.0.1 法曹像の周知
要素	養成しようとする法曹像を明確にし、関係者等に周知していること。
小項目	1.0.2 自己改革
要素	自己改革を目的とした組織・体制が適切に整備され機能していること。
小項目	1.0.3 情報公開
要素	教育活動等に関する情報を適切に公開し、学内外からの評価や改善提案に適切に対応していること。
小項目	1.0.4 法科大学院の自主性・独立性
要素	法科大学院の教育活動に関する重要事項が、法科大学院により自主性・独立性をもって意思決定されていること。
小項目	1.0.5 学生への約束の履行
要素	法科大学院が教育活動等の重要事項について学生に約束したことを実施していること、実施していない場合には合理的理由があり、かつ適切な手当等を行っていること。
小項目	1.0.6 特徴の追求
要素	特徴を追求する取り組みが適切になされていること。

## II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

### 《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 外部評価システムを新設する	→同窓会、学識経験者を含む学外者による評価体制の構築	C	C	A		
2. 人事計画を含めた将来構想を策定する	→将来構想委員会の設置と長期計画案の策定	C	B	B		
3. 研究科内法律事務所の設置。(6-2より移動)	→法律事務所の開設場所、人数、教員の身分、事務所経費等の決定。	D	C	C		

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

### 《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	2011年12月に学外第三者による外部評価を実施した。授業参観、学生へのインタビュー、意見交換会を実施した。また、司法研究科への提言を盛り込んだレポートが提出された。 外部評価委員：山本健司弁護士(大阪弁護士会、大阪市立大学特任教授)、行 俊昭氏(大阪ガス株式会社法務室長)
目標2	将来構想委員会を設置し、長期的な人事計画について具体的な検討を開始した。
目標3	将来構想委員会にて法律事務所の設置目的、設置形態、組織運営、設置場所等の具体的な検討を開始するとともに、大学および法人との懇談を開始した。
備考	

☆